

北海道新幹線 × nittan 地域戦略会議 平成27年度 事業計画案

nittan

IBURI × HIDAHA Regional Strategy Meeting

節目となる北海道新幹線開業年をむかえ、より具体的な取組みを行います。

平成27年度末の北海道新幹線開業による道外観光客増加等の効果を、新幹線沿線ではない胆振日高（“nittan”）地域においても最大限に享受し、地域経済を活性化することを目的として、平成25年10月に設立された「北海道新幹線 × nittan 地域戦略会議」。大きな節目となる年度をむかえ、函館延伸までの「短期集中プラン」について、より具体的な取組みを進めていきます。昨年度実施した事業を生かしながら、地域内の各種団体・組織との連携を強め、地域への新しい人の流れをつくるために官民一体となって取組みます。

目指すところ

①地域間連携を強め、地域内の機運醸成を進める。

本会議の取組みを地域・組織の垣根を越えて協力し、実施していくことにより、地域間の連携を強めていきます。また、地域内での認知度向上を目的とした取組みを実施していくことで、北海道新幹線開業に対する機運醸成を進めていきます。

②函館から地域内へ、新しい人の流れをつくる。

nittan 地域の観光資源を生かした取組みにより、北海道新幹線で函館に着地した観光客及びビジネス客に一人でも多く訪れてもらうことを目指します。さらに、二次交通の整備に向けた検討を進め、誘客促進を図ります。

③観光・ビジネス客に対するロングステイの提案。

着地した観光客・ビジネス客に対して周遊滞在を促す取組みを実施することにより、地域経済の活性化を図ります。



目標達成のための事業推進方針

nittan 地域が北海道新幹線開業もたらす効果を最大限享受するために、平成26年度に実施した事業を生かしつつ、地域内の機運醸成と、道外観光客の誘客に対するより具体的な取組みを進めていきます。

そのために重要となる地域間連携を強化し、地域経済の活性化につながる仕組みづくりを実施していきます。

事業推進の重点戦略

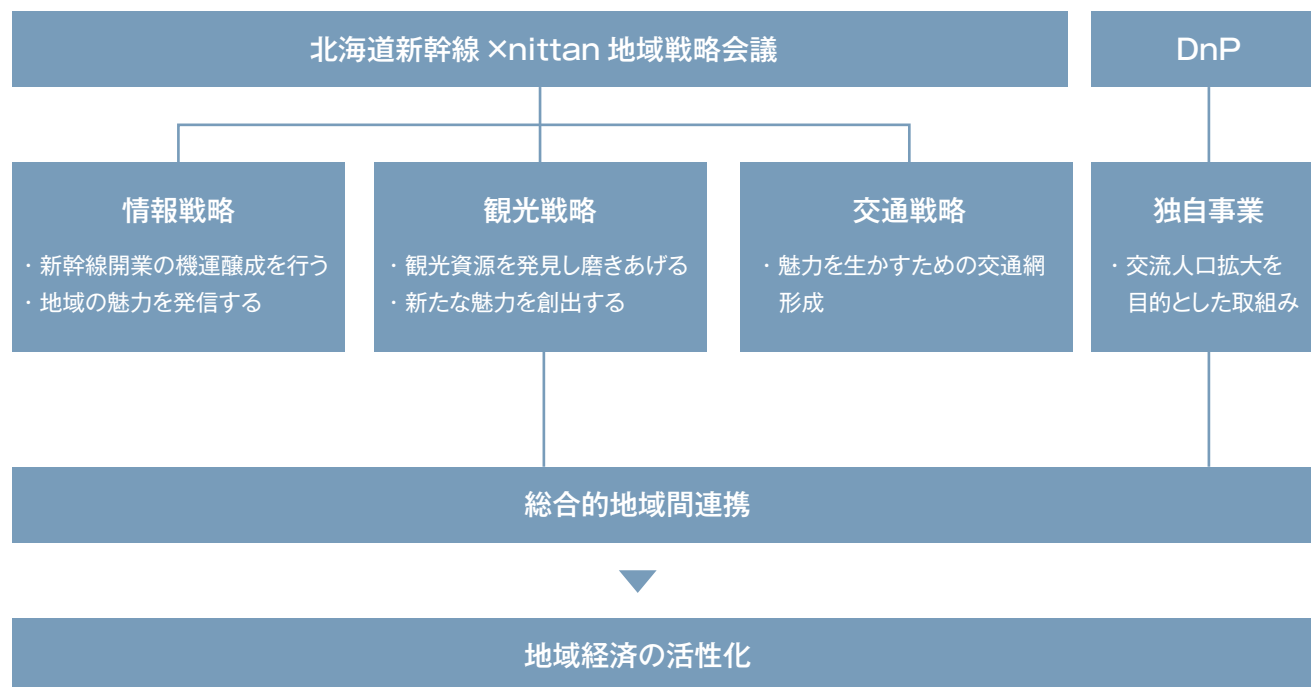
重点戦略は昨年度に引き続き nittan 地域内の北海道新幹線開業に対する機運醸成と、地域の魅力を地域内外に広く発信する「情報戦略」。観光資源を磨きながら新たな魅力を作り出す「観光戦略」。そして魅力を生かすための交通網の形成を目指す「交通戦略」を3本柱として取組みます。

重点戦略+αとしての「総合的地域間連携」については本年度はより重点を置き、nittan 地域内で活動する各種団体・組織との連携を強化し、互いの取組みを連動させることで事業効果の最大化を図ります。昨年度新たに設置した民間主体の組織「Discover nittan Project」から提案のあった取組みを民間主導で実施していきます。

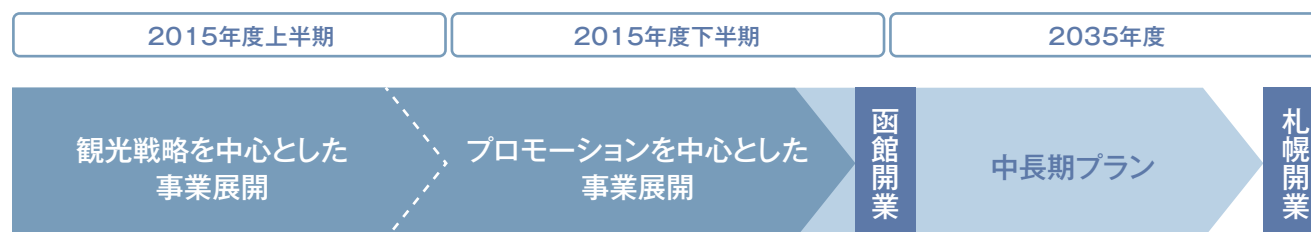
事業推進の目標期間

平成27年度末に予定される北海道新幹線函館開業までを短期と整理するなかで、観光商品造成時期下期にあたる平成27年9月をメドとして観光戦略を中心に重点戦略を展開します。その後、北海道新幹線開業月と推定される平成28年3月を目標としてプロモーションを中心に各戦略を実施していきます。

■事業推進戦略図



■事業推進目標期間



平成27年度事業立案にあたって

北海道新幹線開業が年度内に近づいた今、平成27年度は、平成26年度事業で実施した取組みを生かした、より具体的な情報の発信と、観光商品の提供、さらには新しい交通網の形成に向けた取組みを行っていきます。

魅力と情報の整理

nittan エリアの魅力と情報について [nittanDictionary] をはじめとした情報戦略の取組みの中で、検証・整理をすることができました。

グルメ

nittan は、18 の市町が合わさった広大なエリアであり、その多くが太平洋に面しています。そのため農産物・海産物を中心とした、豊富な食材を有するエリアとも言えます。各地域でとれる食材を生かした、地域の特色が感じられるグルメ・メニューも数多く存在しています。

グルメ・ジャンル▶イタリアン・海産物・カフェ・フルーツ・牛・ご当地グルメ・スイーツ・蕎麦・直売所・農産物・パン・豚・焼き鳥・ラーメン・和食・その他

景観

nittan は海・山・川・湖などが揃い、数多くの自然景観を楽しむことができるエリアです。日高エリアで有名な馬や牧場風景、桜・菜の花・すずらん・高山植物などの植物も数多く楽しめます。近年では工場夜景をはじめとした産業観光も盛んになっています。

景観・ジャンル▶海・川・紅葉・滝・ダム・鳥・沼・風物詩・牧場風景・湖・夜景・山・夕景



nittan は北海道の全てが詰まっている

レジャー

海・山・川・湖を生かしたレジャーが数多く存在しています。冬でも楽しめるレジャーも増え、四季を通じて体験できるコンテンツが充実。なかでも日高エリアを中心とした乗馬や競走馬の見学は、nittan エリアならではのと言えます。

レジャー・ジャンル▶ウォーキング・海のレジャー・川のレジャー・鑑賞・遊覧・キャンプ・クルージング・乗馬・スキー・スノーボード・スポーツ・体験学習・ツアー・釣り・テーマパーク・ものづくり・パークゴルフ・登山

温泉

nittan は登別温泉・洞爺湖温泉という北海道でも有数の2大温泉地を有しています。観光客の集う温泉施設や地域に密着した温泉施設など大小さまざまな施設が各地に存在し、温泉スタンドや、手湯、温泉が流れる川の足湯など、さまざまな形態のものが存在しています。

温泉・ジャンル▶温泉・手湯・足湯

立寄

観光客が立寄るさまざまなスポットについて整理してみると、地域の歴史を感じる資料館や、各地の保有する資源に関する施設、各地の特産品を販売する道の駅や、世界最大の油絵を所有する美術館など、バラエティ豊かなスポットが存在しています。

立寄・ジャンル▶遺跡・市場・馬・記念館・公園・自然・資料館・神社仏閣・展望台・博物館・美術館・道の駅・歴史的建造物・その他

イベント

nittan は年間通してイベントが開催されており、各地の特色を感じられる内容になっています。

平成27年度事業の考え方

北海道の全てが詰まった nittan をどのようなメッセージで発信していくのか。nittanDictionary、nittanPR 動画、nittan ウェブサイトを活用し、「ひとつのストーリーの創出」を戦略の柱に据えて事業を展開していきます。

nittan への旅の起点

北海道新幹線に乗ってやってくる観光客にとって、函館が北海道を巡る旅の起点となります。そして、ここから nittan への旅（ストーリー）が始まるのです。

ターゲットになにを提供できるのか

函館にやってきた観光客に対して、私たちはどのような旅を提供できるのでしょうか。そして、どのようなストーリーをもって nittan の保有する観光資源を結びつけていけるのでしょうか。



プレミアムなロングステイ

nittan が提供できる旅、さらにさまざまな資源を結びつけるストーリーとして「プレミアム（上質）なロングステイ（長期滞在）」という考え方を基本軸として検討します。

プレミアムの3つの定義

プレミアムといってもさまざまな捉え方があります。平成27年度事業として3つの定義を設けます。

1 ゆったりと充実した時間

喧騒をはなれ、雄大な自然を感じながらゆったりとした時間を過ごせること。

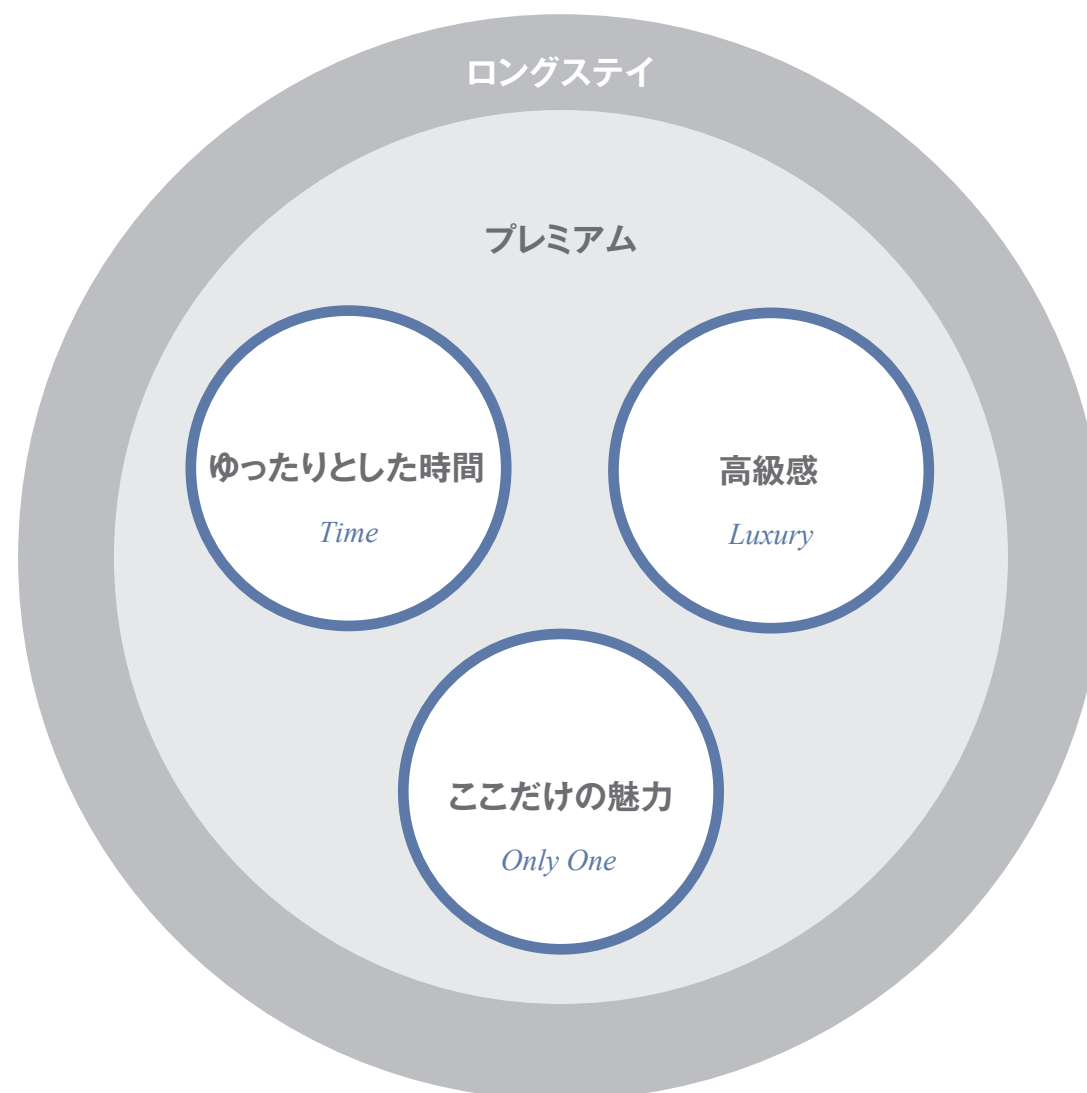
2 高級感

本質的な満足が得られるような、高水準なもの。

3 函館や札幌にないここだけの魅力

nittan が提供できる魅力の中で、他の地域、特に函館や札幌にはない魅力。

上記3つの定義を満たす「プレミアム」な魅力を抽出し、「ロングステイ」という軸で、抽出された魅力を整理・開発・発信していくことでひとつのストーリーを創出していきます。

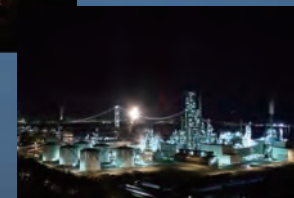
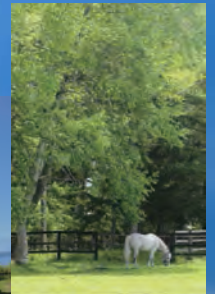


函館からはじまる大人旅

北海道 プレミアムステイ

HOKKAIDO
PREMIUM STAY

北海道の全てがつまった nittan で
かずかずの自然の恵みと、人との出会いを
ゆったりとした時間のなかでお楽しみください。



メインロゴ案

函館からはじまる大人旅 北海道プレミアムステイ

メインロゴマーク案

HOKKAIDO PREMIUM STAY HOKKAIDO PREMIUM STAY

キャッチコピー

北海道の全てがつまった nittan で
かずかずの自然の恵みと、人との出会いを、
ゆったりとした時間のなかでお楽しみください。

イメージカラー案



ゴールド



C:0
M:0
Y:0
K:70



C:100
M:80
Y:15
K:0



C:0
M:0
Y:0
K:0

事業展開

観光戦略

北海道プレミアムステイ

情報戦略

イベントプロモーション
公式パンフレットカバー
nittanDictionary
nittan web
nittan PR 動画

交通戦略

観光 × 二次交通
日高エリアの交通に関する調査検討

インデックス

I ターゲット設定

- ・ 誘客ターゲット設定

II 観光戦略／基本方針

- ・ 観光戦略の基本方針

III 観光戦略／北海道プレミアムステイ

- ・ ここでしか味わえない魅力を提供する長期滞在促進事業

IV 交通戦略／観光×2次交通

- ・ 道南エリアの港から室蘭港へ小型クルーザーを運行させる

V 交通戦略／日高エリアの2次交通

- ・ 日高エリアの交通に関する調査検討

VI 情報戦略／基本方針

- ・ 情報戦略の基本方針

VII 情報戦略／イベントプロモーション

- ・ nittan マルシェの開催
- ・ エリア内外で開催するイベントの出展

VIII 情報戦略／オフライン展開

- ・ 公式パンフレットカバーの製作

IX 情報戦略／平成26年度成果物の活用

- ・ nittanDictionary
- ・ nittan PR 動画
- ・ nittan web
- ・ 18バージョンポスター

X nittan と Discover nittan Project

- ・ nittan と DnP の関係性

XI Discover nittan Project の提案事業

- ・ イベントへの出店を DnP 会員から募る
- ・ 空港では買えないお土産逸品のカタログ作成
- ・ スポーツを軸とした新たな魅力づくり

誘客ターゲット設定

東北・首都圏・函館エリア

北海道新幹線開業の効果を生かし、nittan エリアへの誘客を目的としたターゲットを設定します。

首都圏エリア生活者

経済の中心地

人口が多く経済の中心である東京エリアでの nittan の認知度を高めることができれば大きな効果が期待できます。また、空港の利用も多いエリアで、新千歳空港と比較的近い距離にある nittan は道内の他地域よりも有利といえます。

年齢／40～60代の生活者

国内旅行に関心の高い層、そして経済的にも時間的にも余裕のある年齢層として 40～60 代の生活者をターゲットとします。特に北海道ブランド来訪歴のある層に対しての情報発信を行い、札幌や函館などと差別化できるコンテンツを提供し北海道での存在を新たにします。

東北エリア生活者

年齢／40～60代の生活者

仙台から函館まで新幹線でおよそ 2 時間 37 分、函館から nittan 圏内まで約 3 時間程度という位置にある。合計 5 時間 40 分程度の移動時間で、新幹線沿線のなかでは比較的近いエリアといえます。

青函エリア着地観光・ビジネス客

年齢／40～60代の観光客およびビジネス客

新青森から函館まで約 1 時間、函館から nittan 圏内までおよそ 3 時間程度という位置にあり、移動時間の合計は約 4 時間と想定されます。特に帰りを新千歳空港としている観光客に対しては有利なエリアであり、さらに函館との連携を強めることで来訪の可能性を高めることができます。



インバウンド

アジア圏の富裕層

アジアのなかでも台湾・香港などの富裕層はインターネットに対する慣れもあり、回遊性も高い傾向にあります。新千歳空港に到着した場合、nittan エリアは非常に近い位置にあるため、訪れてもらう可能性が高いといえます。

なぜロングステイなのか

平成27年度事業において、なぜロングステイに着目したのは、ご当地体験・一棟貸し・地元感など、旅スタイルの多様化が「滞在型観光」の後押しになっているという背景があります。

今後はより「旅」と「暮らし」が一体化

旅行は人々の価値観の多様化、インターネットでの旅行手配やLCCの普及などの背景から、発地側でパッケージ化された旅行から個人が自由に着地側で旅行を選択するスタイルへと大きく転換しています。

また、旅行においても「モノ消費」から「コト消費」へと変われ、これを受けて、その土地の住民のように滞在しながら「旅を通して理想の暮らしを手軽に実現」できる新しいロングステイをする人が増えると予測しています。

新しいロングステイの旅に求めるのは「ザ・観光」ではない「地元感」

近年、宿泊施設において、地元の人のような感覚で「過ごす・暮らす」という宿泊プランが人気であることから、その土地ならではの「暮らし」を味わうための「滞在型の観光体験」にますます注目が高まることが予測されます。またロングステイは、これまで海外で過ごす需要が高い傾向にありましたが、国内需要も高まっています。

国内旅行のロングステイに関するアンケートによると、人気のエリアは「沖縄」「京都」「北海道」など比較的回遊性の高い観光地が上位でした。

やってみたいこととしては、「地元の市場に行って買い物したい(41.4%)」「地元ならではの体験がしたい(16.3%)」など「地元」というキーワードが目立ちました。このことから、何度か旅行したことがある場所に魅力を感じ、観光ではなく、地元の人のように暮らしながら過ごしたいと思う人が多いことがうかがえます。

【表1】ロングステイに人気のエリアランキング

1位	沖縄（離島含む）	6位	鎌倉
2位	京都	7位	伊豆
3位	軽井沢	8位	小樽
4位	瀬戸内の島	9位	信州エリア
5位	富良野	10位	長崎

北陸新幹線で注目の集まる金沢も11位にランクイン

【表2】ロングステイでやってみたいこと

街並みを散策したい	44.4%
地元の市場に行って買い物したい	41.4%
湯めぐり・湯治をしたい	36.3%
自然・景色を楽しみたい（釣り、山菜採り）	32.0%
地元の人がいく飲食店で食事をしたい	23.6%
地元ならではの体験がしたい（工芸、農業など）	16.3%
地元食材で料理をしたい	13.3%

※表1、表2…じゃらん編集部調べ/2015年2月度インターネット調査
対象：30～69歳の女性700名

※国内旅行のロングステイに関するアンケート：首都圏・関東へのアンケート。30～60代の女性へ700サンプル。（リクルートライフスタイル調べ）

アンケート調査結果から導きだされるもの

アンケート調査データから、観光客は「ここにしかない」ものをもとめて「ゆったりした滞在」を求めていると推測されます。

また、北海道新幹線に乗ってきたカスタマーに対し、「ここにしかない」「ゆったりした滞在」を提供していくことが必要だと考えられます。

nittan で提供できるものとは

nittan エリアが観光客に対して提供できる第一のテーマは食といえます。ご当地メニュー、ご当地ブランド食材などに注目します。

また、第二に挙げられるテーマとしては滞在。例えばツアーや連泊プランの作成もあわせて進めていきます。

【nittan が提供できる2つのテーマ】

- ・食：ご当地メニュー、ご当地ブランド食材の提供
- ・滞在：ツアー、連泊プランの作成

ここでしか味わえない魅力を提供する 長期滞在促進事業

アクティブシニア層をターゲットとした観光商品の造成

エリア内での長期滞在環境、体験メニューを整え、新函館北斗駅に到着する観光客を当エリアへ呼び込む動線を強化し、着地型観光地作りを目指します。

POINT 01 メインターゲットはアクティブシニア層

アクティブシニア層のなかでも、すでに北海道に訪問経験がある層をメインターゲットとして設定し、より本質的な満足度を得られるように、プレミアム感（ここでしか味わえない魅力、高級感、充実した時間）を提供できるコースの造成を目指します。

POINT 02 集客力がある洞爺登別エリアを玄関口と位置づける

エリア内で高い集客力を誇る洞爺登別エリアを第1泊目。その後東胆振・日高エリアへ転泊し、長期にわたり滞在してもらう仕組みをつくります。

POINT 03 素材の磨き上げと整理

すでに各市町、協議会、団体で行っている取組の把握と発信を行います。またエリア内での着地型観光商品、取組を結びつけ、連携を強化するための担当者レベルでのミーティングを開催します。

POINT 04 冊子の作成とモニターツアーの実施

磨き上げと整理を行ったコンテンツをまとめた冊子を作成し、プロモーションを実施します。さらに旅行代理店の商品造成担当者等を招聘し、モニターツアーを実施するなどして旅行会社への商品造成を依頼します。



洞爺登別エリアを玄関口に設定



ミーティング等で素材の磨き上げと整理を進める



冊子を作成・モニターツアーの実施



冊子の配布・旅行商品の造成依頼

道南エリアの港から室蘭港へ 小型クルーザーの運行を検討

クルーザーでホエールウォッチングを楽しみ
ながら nittan エリアへの人員輸送を検討

北海道新幹線で函館まで来た人員をどういった手法で輸送するかを
検討していくなかで、函館からの長距離の移動を考え、移動自体を
観光資源化することを、実証実験を実施するなどして検討します。

POINT 01 バス→クルーザー→バスでの移動

函館駅・新函館北斗駅→(バス)→森港→(クルーザー)→室蘭港→(バス)→登別温泉・洞爺湖温泉
と海路を組み合わせ自然や歴史に触れる新たな観光ルートを検討

POINT 02 クルージングで nittan の自然を味わう

駒ヶ岳や有珠山をゆったりと眺めながらイルカ・ホエールウォッチングも体験できるという、特別な
観光ルートといえます。

POINT 03 土木学会選奨土木遺産の札幌本道をゆく街道観光ルート

※札幌本道：開拓顧問のホーレス・ケブロン計画により、1872（明治5年）～1873（明治6年）
にかけて開拓使が建設した日本初の本格的な西洋式馬車道であり、函館から森までは道路とし、そこ
から室蘭港までの航路を経て千歳経由で札幌までを結ぶ。2006年に土木学会選奨土木遺産に選出。

POINT 04 観光戦略企画のモニターツアーに組み込む

観光戦略事業・北海道プレミアムステイのモニターツアーに組み込み、実証実験を行います。
その結果をもとに、実用化を検討します。



検討中のクルーザーイメージ



定員：旅客32名（船員3名）
客席：室内26席、室外6席
航行計器：GPSプロッター、魚群探知機、レーダー、船舶無線 27MHz
装備：大型客席、暖房、温水ポット、電子レンジ、洋式トイレ